

ごみ減量化モデル事業中間アンケート調査結果

ときがわ町では2つの地区に、令和4年3月1日から、30世帯の方に第4期ごみ減量化モデル地区としてご協力をいただいています。

今後、町全体への取り組みへつなげていくために、協力者の皆様に以下の内容でアンケート調査を行い、結果を取りまとめましたので報告いたします。

- 1 目的：ごみ減量化に意識的に取り組んでいる世帯の意識や意見を参考にして、今後の事業の展開に役立てて、町全体への取り組みにつなげる。
- 2 対象：ごみ減量化モデル事業の協力世帯（30世帯）
【 田黒地区 15世帯 関堀地区 15世帯 】
- 3 期間：令和4年11月1日～令和4年11月11日
- 4 方法：協力世帯にアンケート用紙を配布。無記名で回収。

アンケート集計表

問1 モデル事業を中心で行っている方の、該当するものに☒印をお願いします。

・性別

☐ 男性 13名 ☐ 女性 11名

・年齢

☐ 20歳代 0名
☐ 30歳代 0名
☐ 40歳代 1名
☐ 50歳代 6名
☐ 60歳代 7名
☐ 70歳代 9名
☐ 80歳代 1名

無回答 6名

問2 ごみ減量化モデル事業についてご存知でしたか？

知っていた 14名
知らなかった 10名

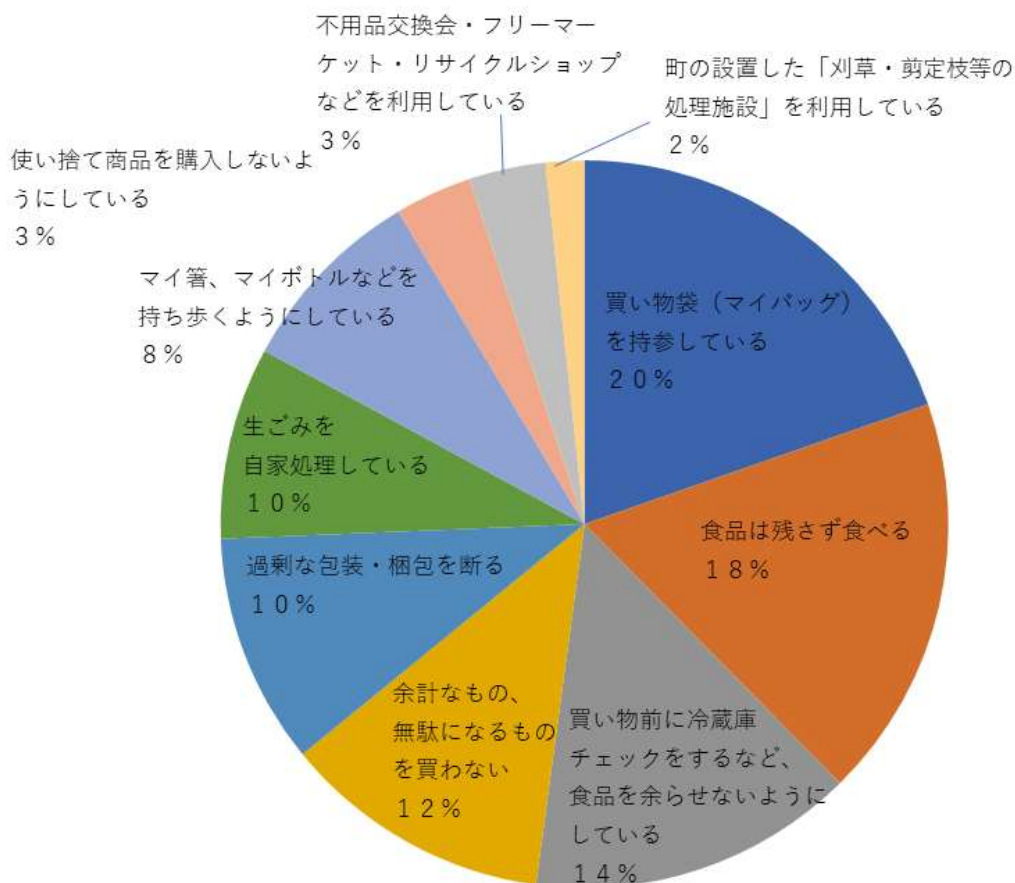
問3 問2で「知っていた」と回答された方は、ごみ減量化モデル事業に興味がありましたか？

興味があった 12名
興味がなかった 2名

問4 ごみ減量化の取り組みで、あなたが実行しているものに☑印をお願いします。
(複数回答可)

- | | |
|---|-----|
| <input type="checkbox"/> 余計なもの、無駄になるものを買わない | 14名 |
| <input type="checkbox"/> 過剰な包装・梱包を断る | 12名 |
| <input type="checkbox"/> エコバック（マイバッグ）を持参している | 23名 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て商品を購入しないようにしている | 4名 |
| <input type="checkbox"/> 食品は残さず食べる | 21名 |
| <input type="checkbox"/> 買い物前に冷蔵庫のチェックをするなど、食品を余らせないようにしている | 17名 |
| <input type="checkbox"/> 生ごみを自家処理している | 10名 |
| <input type="checkbox"/> 不用品交換会・フリーマーケット・リサイクルショップなどを利用している | 4名 |
| <input type="checkbox"/> 町の設置した「刈草・剪定枝等の処理施設」を利用している | 2名 |

【ごみ減量化の取り組みで実行していること】



無回答 6名
回答者合計 24名

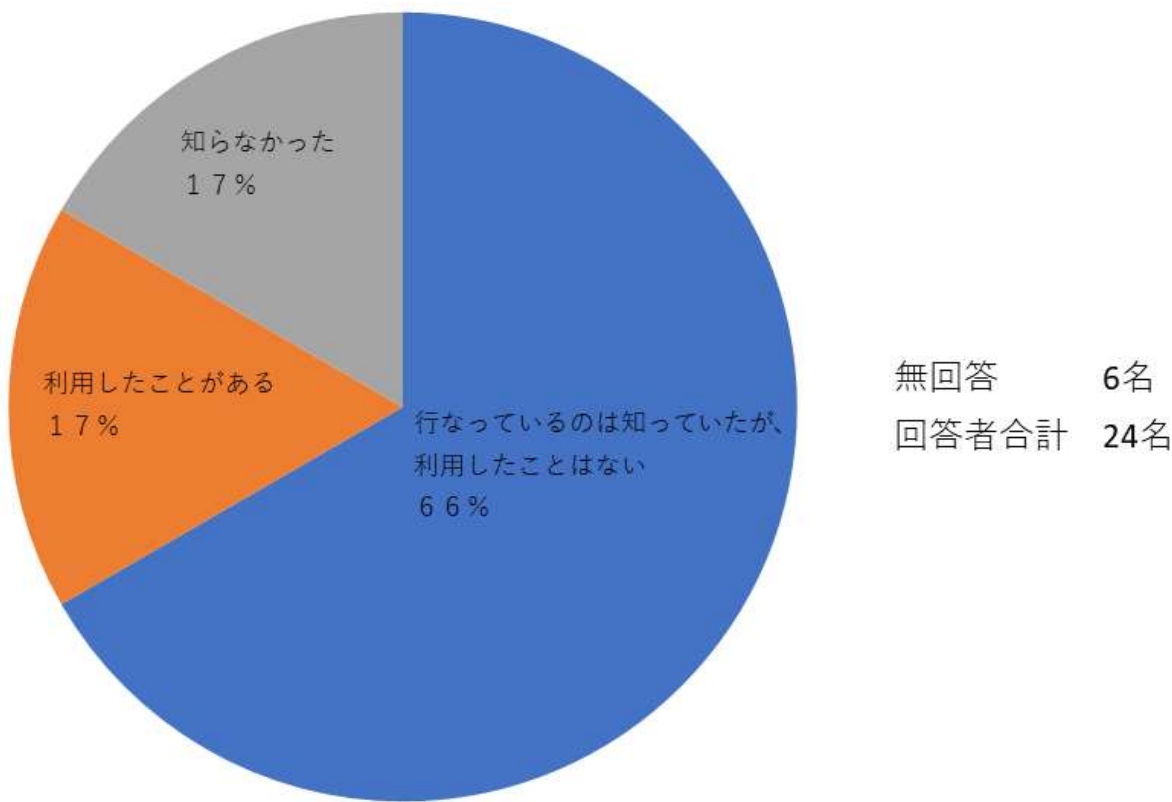
問5 町では剪定枝や刈草の受入れを毎月第2・第4火曜日に行なっています。
(令和4年度ごみカレンダーP20参照)。該当するものに☑印をお願いします。
(複数回答可)

- ☐ 利用したことがある
- ☐ 行なっているのは知っていたが、利用したことはない
- ☐ 知らなかった
- 4名

16名

4名

【剪定枝や刈草など町の受入れ施設の利用状況】

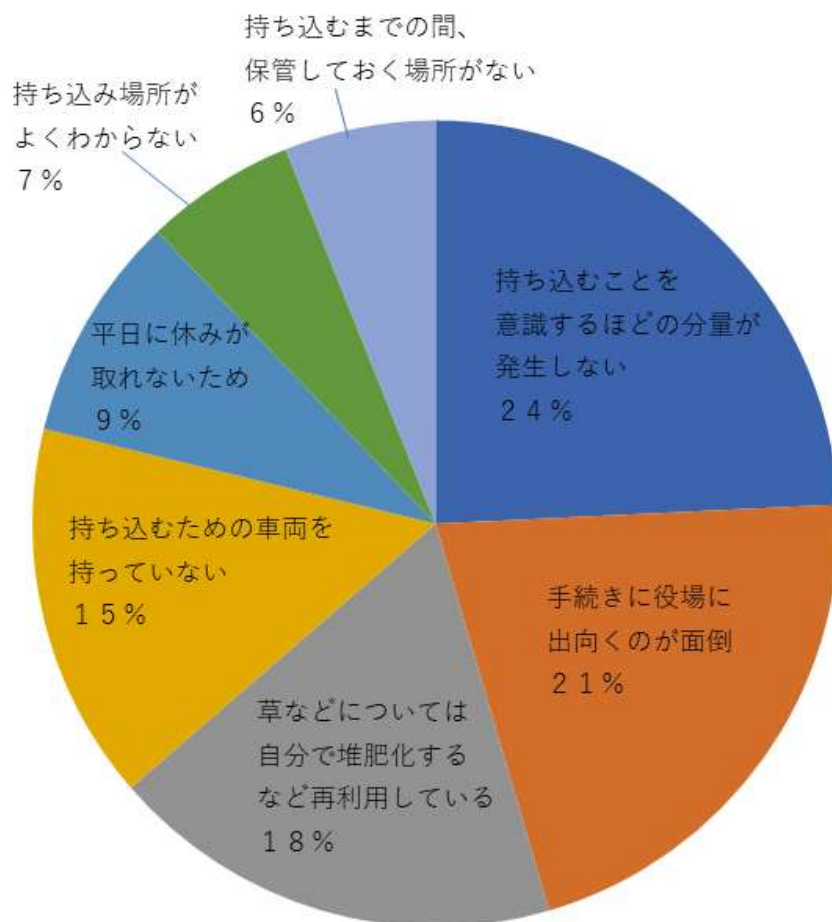


問6 問5で「行なっているのは知っていたが、利用したことはない」と回答された方は、その理由について該当するものに☑印を記入してください。

(複数回答可)

- | | |
|--|----|
| <input type="checkbox"/> 平日に休みが取れないため | 3名 |
| <input type="checkbox"/> 持ち込むための車両を持っていない | 5名 |
| <input type="checkbox"/> 持ち込むまでの間、保管しておく場所がない | 2名 |
| <input type="checkbox"/> 草などについては自分で堆肥化するなど再利用している | 6名 |
| <input type="checkbox"/> 持ち込むことを意識するほどの分量が発生しない | 8名 |
| <input type="checkbox"/> 手続きに役場に出向くのが面倒 | 7名 |
| <input type="checkbox"/> 持ち込み場所がよくわからない | 2名 |

【行なっているのは知っていたが、利用したことがない理由】



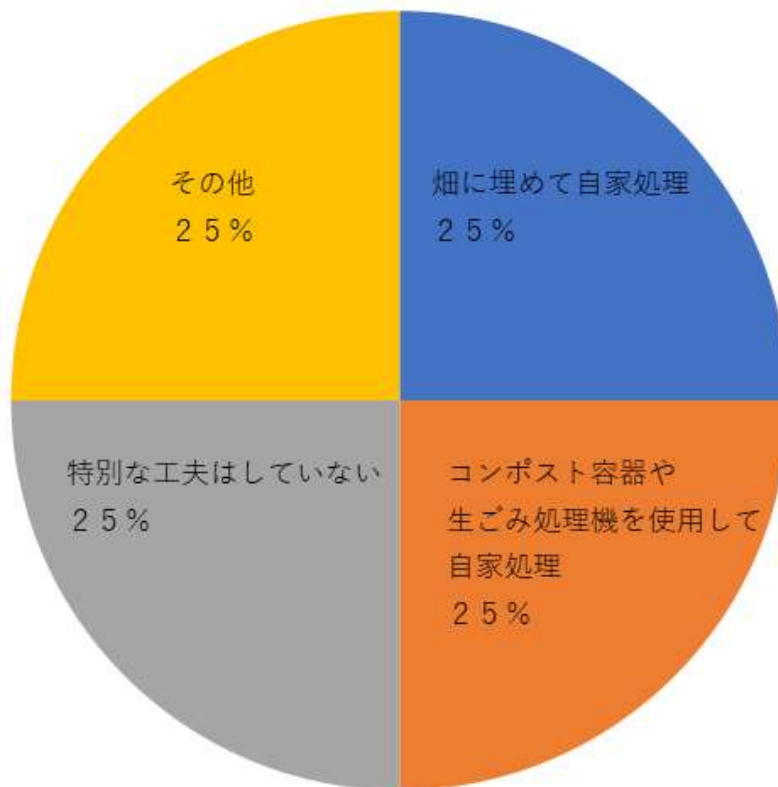
無回答 6名
回答者合計 24名

問7 普段の生ごみ処理について、工夫して可燃ごみ量の削減に取り組んでいることはありますか？該当するものに☑印をお願いします。

(複数回答可)

- | | |
|--|----|
| <input type="checkbox"/> 畑に埋めて自家処理 | 7名 |
| <input type="checkbox"/> コンポスト容器や生ごみ処理機を使用して自家処理 | 7名 |
| <input type="checkbox"/> 特別な工夫はしていない | 7名 |
| <input type="checkbox"/> その他 | 7名 |

【工夫して可燃ごみ量の削減に取り組み】



無回答 6名
回答者合計 24名

【その他】

- ・ 雨に濡れた木の枝や葉、雑草は乾燥させてから排出している
- ・ 生ごみは十分に水切りをしてから排出している
- ・ 料理に使えるところ（野菜の茎や葉等）を使う
- ・ 野菜・果物などは念入りに洗って皮ごと食べるようにしている
- ・ 紙類は小さなものでも資源回収に出している
- ・ 生ごみなどの水気をできるだけ少なくしている

【まとめ】

- ・ 多くの方がエコバッグ(マイバッグ)を持参したり、買い物前に冷蔵庫のチェックをする等、ごみ減量への関心を持って取り組んでいることがわかる
- ・ モデル事業をきっかけに、野菜・果物などの皮も食べるようにしているという意見もあった
- ・ 生ごみの水切りや、雑がみの資源化、剪定枝や刈草等の受入れ施設の活用を、更に積極的に推進することで、減量効果を更に向上させていきたい
- ・ ごみの減量化を進める上で、50%の方が自家処理でき、50%の方が自家処理できないという結果となった。キエーロの活用を一層推進することで、減量効果を更に向上させていきたい
- ・ ごみの分別意識が変わることが重要。町は今後も広報等を通じて情報発信していきたい
- ・ いただいたご意見を参考に、この取り組みに反映させていきたい